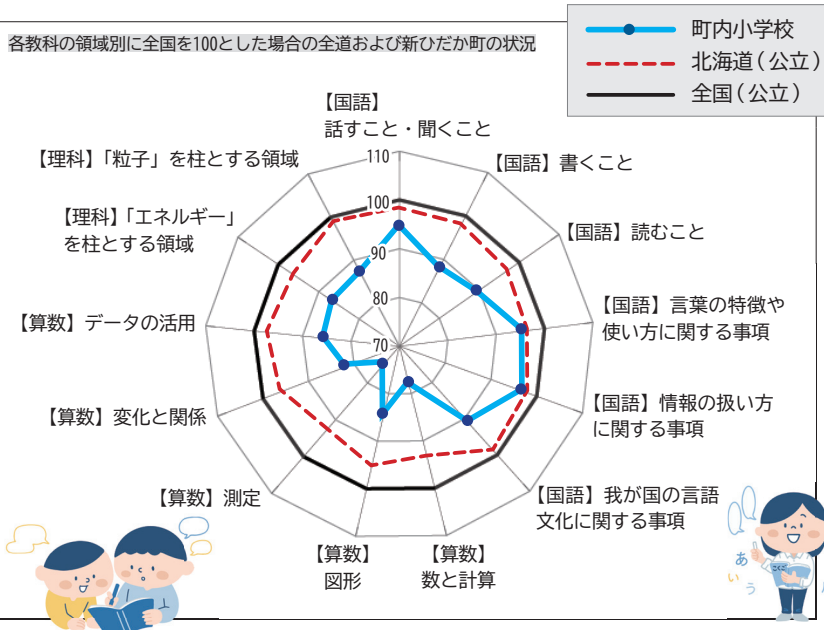


令和7年度全国学力・学習状況調査結果

町内小学校の状況

対象者	小学6年生（3校130人）
実施内容	国語・算数・理科・質問調査
課題領域	【国語】書くこと 【算数】数と計算 【算数】測定
国語・算数ともに、昨年度より全国・全道との差を縮めており、特に昨年度の課題であった国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」は全道平均とほぼ同様となりました。 しかし、すべての領域において全国・全道の平均正答率を下回っており、課題が見られます。	

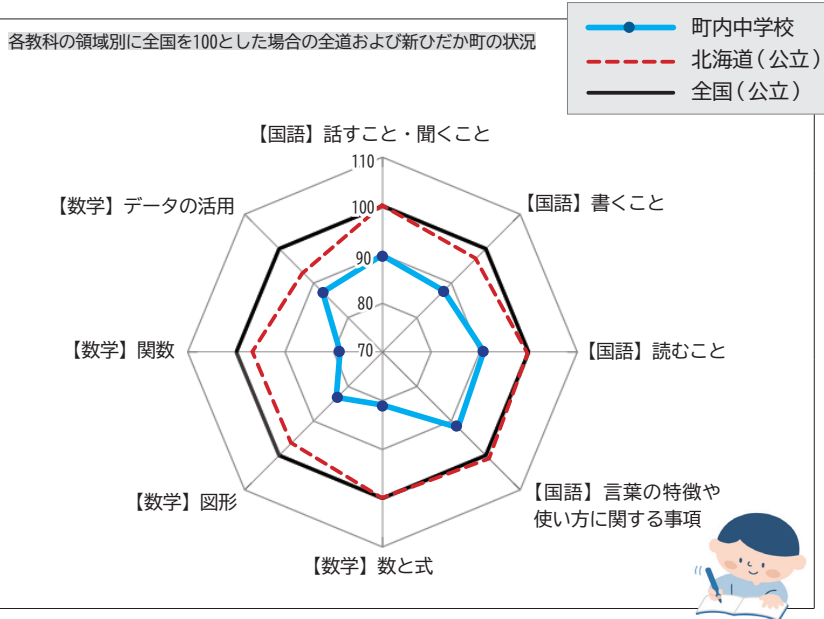
各教科の領域別に全国を100とした場合の全道および新ひだか町の状況



町内中学校の状況

対象者	中学3年生（3校・146人）
実施内容	国語・数学・理科・質問調査 ※理科はレーダーチャートの表示なし
課題領域	【国語】話すこと・聞くこと 【国語】書くこと 【数学】数と式 【数学】関数
国語・数学ともに、昨年度より全国・全道との差を縮める結果となっていますが、すべての領域において全国・全道の平均正答率を下回っており、課題が見られます。	

各教科の領域別に全国を100とした場合の全道および新ひだか町の状況



＼学習環境・生活習慣などを確認／

質問調査からわかること

- 小学校では、授業で1人1台端末の活用が進み、効果的に活用されている
- 中学校では、学級やグループで話し合い、協力しながら課題の解決に取り組む協働的な学びが定着している



【課題】

- 朝食摂取率や家庭学習時間などが全国・全道平均を下回っている
- 家庭でのゲームやスマートフォンなどの使用時間が全国と比べて長い

＼児童・生徒一人ひとりの確かな学力を育む／

新ひだか町の学力向上策

- 中学校区を単位とした学力向上推進ブロックにおける小中の連携を図った学力向上策の推進
- 文部科学省および北海道教育委員会指定事業を活用した「ICTの効果的な活用による授業改善」
- 授業との関連を図った家庭学習の取り組みとアウトメディアチャレンジの推進

